

令和元年度

# 鳥取県文化功劳賞



ONISHI Mizuka

音楽  
大西瑞香  
(米子市)



ABE Akemi

創作人形  
安部朱美  
(米子市)

## 安部朱美氏 記念講演 入場無料

2020年 **2月2日**(日)  
午後1時30分~午後3時(開場:午後1時)  
鳥取県立博物館 講堂  
テーマ「人形に想いを込めて~ご縁はつながる」

## 大西瑞香氏 記念リサイタル 入場無料

2020年 **2月11日**(火・祝)  
午後2時~午後3時30分(開場:午後1時30分)  
米子市文化ホール メインホール 米子市末広町293  
賛助出演 古屋輝夫(尺八)・野坂知子(フルート)

## 記念巡回展 入場無料

### 中部会場

2020年 **1月11日**(土) ▶ **1月19日**(日)  
倉吉博物館  
午前9時~午後5時 休館日1月14日(火)  
倉吉市仲ノ町3445-8 TEL:0858-22-4409

### 東部会場

2020年 **1月25日**(土) ▶ **2月2日**(日)  
鳥取県立博物館  
午前9時~午後5時 休館日1月27日(月)  
鳥取市東町2丁目124 TEL:0857-26-8042

### 西部会場

2020年 **2月8日**(土) ▶ **2月16日**(日)  
米子市美術館  
午前10時~午後6時 休館日2月12日(水)  
米子市中町12 TEL:0859-34-2424

# 令和元年度鳥取県文化功労賞

鳥取県では、県民文化の向上に資することを目的として、優れた文化芸術活動により広く文化の振興に功績のあった方の功労を讃えて表彰しています。  
今年度受賞されたお二人の功績と活動について、巡回展示などにより広く紹介します。

音楽

おおにしみずか  
米子市

大西瑞香



創作人形

あべあけみ

米子市

安部朱美



昭和60年から箏曲集団「綸(いと)の会」を主宰。平成18年、流派を越えて邦楽演奏家が集う和楽器集団「とっとり邦楽合奏団」を創設。公演活動のみならず、県内の小学校等において演奏やワークショップを行い、和楽器を通して若い世代への伝統音楽の継承に尽力している。

鳥取県総合芸術文化祭(とりアート)で上演された「朝日座」  
「倉吉・ダブルストーリー」等において作曲・演奏を担当し、このうち「朝日座」で作曲した《米子八景》はCD出版され、広く鑑賞されている。

全国で、箏曲のほか洋楽器とのコラボレーションなどジャンルを越えた演奏活動を展開するほか、国外での公演も行っている。特に、平成25年にフランス・サンモーリス国立音楽院からの招聘により尺八奏者 古屋輝夫氏と公演を行って以降、毎年パリで開催される「箏・尺八デュオリサイタル」に出演するとともに箏の指導に当たり、国外における邦楽の普及にも寄与している。

大学等で音楽教育に従事するほか、鳥根県出土の古代琴の復元・演奏や「日韓の伝統音楽教育」についての論説執筆など、様々な教育・研究活動に取り組んでいる。

創作人形分野において、試行錯誤して独自の技法を確立し、新たな世界を切り拓いてきた。人形をとおして「愛」「絆」「和み」を表現し、県内外で展示・講演活動やギャラリートークなどを精力的に行っている。また、平成20年頃まで、20年以上にわたって創作人形教室を開き、多くの人に人形作りの魅力を伝えてきた。

平成19年に「宝鏡寺門跡人形展50周年記念人形公募展」大賞を受賞した作品《かあちゃんよんで》は、平成22年に国民読書年ポスターに採用される。同年からは、全国巡回展が開催され、平成29年には国立の博物館である昭和館において《青空教室》という作品が常設展示された。また、国内にとどまらず国外にも作品を出展し、フィリピン・モンテルパ博物館では《平和への祈りーアリスアと3人の愛児たち》という作品が常設展示されている。

大山開山1300年祭に当たって「大山の大切な節目として多くの人に祝ってもらいたい」という思いから《御幸(神輿行幸)》を制作。交流レセプション、大山寺参道のサンセットカフェ等で展示され、現在は、米子市立山陰歴史館に常設展示されている。

## 会場・アクセス



- 米子市美術館**  
・JR米子駅から徒歩約15分。  
・米子駅前から各方面行きのバスで〈市役所前〉下車。※松江線のバスを除く。  
\*車で来館は市役所有料駐車場をご利用ください。受付にて2時間以内無料の処理をします。

- 米子市文化ホール**  
・JR米子駅から徒歩約4分。



- ・JR倉吉駅バスターミナル2番のりばから市内線バスで〈赤瓦・白壁土蔵(明治町)〉もしくは〈市役所・打吹公園入口〉で下車。



- ・JR鳥取駅からバスで砂丘・湖山・賀露方面行き〈西町〉下車。  
・100円循環バス「くる梨」緑コースで〈仁風閣・県立博物館〉下車。

